



ほふる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
(カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
【今月の一冊】日銀発のバブルで黄金の7年が始まる
菅下 清廣 著 徳間書店
ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2013年4月1日 Vol. 126
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡 邊 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

運

背中のゴミ

みなさんは、『運』という存在を信じていますか？

経験的に、また、感覚的に「運ってあるよね」という会話を友人同士で何気なく使っていると思います。私たちの周りには、確かに運のいい人と悪い人がいます。そして、感覚的に、運のよし悪しはあるということを感じていると思います。

例えば、宝くじに続けて当選した。懸賞品を人の数倍の確率で当てた。大きな仕事を続けて獲得した。そういう人の話は、確率では説明できない運の良さがあるようです。

また、それとは逆に、家が2度火事にあった。1日2回交通事故にあった。就職先が何度も倒産した。どう考えても、ありえない確率で不運に遭遇する人がいるのも事実です。

なぜ、運のいい人と悪い人がいるのでしょうか？

運が存在するということを前提にしてみます。具体的に、自分の周りを見て、もっとも運のいい人、もっとも運の悪い人を思い浮かべてみてください。

運のいい人の生活リズムは、毎日が楽しそうで、いきいきと過ごして、人間関係も上手にこなしているように見えるのではないのでしょうか。一方、運の悪い人は、ストレスの多い生活を送り、そこには、人間関係や金銭的なトラブルが原因になっているかもしれません。運のいい人と悪い人の人生は、その幸せ度や楽しさ度がまったく違ってきます。

運のいい人と悪い人が実際にいる中で、それは才能と一緒に、生まれつき決まっているものと考えられるかもしれません。運は、後天的に身につけることができるのでしょうか？

ある時期まで運が悪かったけれど、本人の努力で大きく運を上昇させた人たちも現実にはいます。運は目に見えない、とらえどころのないものですが、実は、行動習慣と密接に関係している

とされています。自分自身の行動習慣を見直してみることも大切ではないのでしょうか。そこで、「感情を大切にす、夢を持つ、良好な人間関係を持つ、エネルギーに行動する、応援される人になる」など、自分の人生をいきいきと、そして、自分らしく生きようとする人に“運”は舞い降りてくると信じていいものです。

『自分の運を愛さない者には、運は微笑しない』（司馬 遼太郎）

和尚さんがある青年のことを話していました。

『お前は、自分の背中に付いたゴミが自分で見えるのか？』とある青年に尋ねたそうです。言われている時には、その意味がわからなかったようです。

自分にとって都合の悪いことは受け入れず、いろんなことを言われるたびに機嫌を損ね、ムツとしたりしていました。そのうち周りの人も「どうせあいつに言ったって、機嫌を損ねるだけだろうさ」から、もう言わない」と思われ、誰も青年に悪いところを指摘しなくなってしまいました。そして、周囲の人たちは青年に対して、気持ちのいい言葉ばかりを発するようになっていきました。

ある時、青年が大きな失敗をしてしまいました。すると、波がさ〜っと引くかのごとく、それは見事に青年の周りから人がいなくなってしまうしました。しかし、数人の友人だけは残ってくれました。その数人は、青年が天狗になっていた時にも苦言を呈してくれていた人でした。

いつしか青年の背中は、ゴミだらけになっていたのに、気づこうとしませんでした。“自分のやり方が最高！”と考えている人は、周りの助言に耳を貸しません。すると、だんだんいい情報が入ってこなくなります。嫌な事を言ってくれる人は、最高の宝ですね。



【座右の銘にしたい名言】



どんな仕事でも喜んで引き受けてください。やりたくない仕事も、意に沿わない仕事も、あなたを磨き強くする力を秘めているからです。

(稲盛和夫/京セラ・KDDI創業者)

